

創立40周年に当たって

12代所長 田 中 尚



生産技術研究所が、今年6月で創立40周年を迎えることを、衷心よりお慶び申し上げます。

第二工学部から、生研の創立を経て、退官するまで、一生の大半を生研で過ごした私にとっては、創立40周年と聞くと、とりわけ感慨無量なものがあります。その間、よい先生・先輩、よき友人・後輩、それによき職員・学生に恵まれて過ごしてこられたことを、今さらのように幸福に感じております。

生研を去ってから、すでに6年経ちましたので、生研は遠くなった感じもありますが、時に生研の方々のご活躍が目につき、耳に入りますと、懐かしさと共に誇らしさを覚え、また生研の研究環境は、誠に恵まれていたと、つくづく感じます。

30周年誌を見ますと、私は過去の10年間は、共同研究組織が定着した時期であったと規定し、さらに研究体制の再検討が必要であるとしているようです。そう考えただけで、私自身は具体的な研究体制の再検討など、全然できませんでしたが、よき伝統を守りながら、常に自己改革を心掛ける必要があることは間違いないと考えます。

現在大学院の教育体制の再編成などに関連して、生研のあり方全体の改革の検討も進んでいると想像致しますが、私のようなOBとしては、ただ静かになりゆきを見守ることに致します。すなわち、結果は必ずよい方向に改革されて行くような結論が得られるだろうし、また生研の全構成員一同には、よい改革をなしうる実力が十分備わっていると確信いたしております。

最後に、生産技術研究所のますますのご発展を祈念して、簡単ではありますが、お祝いのご挨拶と致します。



六本木キャンパス正面



千葉実験所内施設